



海上安全だより

海難“0”を目指して！！

第一管区海上保安本部
交通部
TEL 0134-27-0118
(内線:2615、2623)
平成24年3月 No. 32

原因から見る海難 その2「船体機器整備不良」

「船体機器整備不良」とは、船体そのものや機器の保守整備状態が悪いことをいいます。
この結果、補修せずに放置された劣化部分からの浸水・発火や給油忘れによる燃料欠乏で漂流するといった海難につながります。

昨年北海道で発生した海難130隻のうち、26隻(2割)がその原因の一つとして考えられます。

◆事例 船体貫通部分の腐食による浸水

【経緯】

船舶Aでは出港後しばらくしてからエンジンの警告ランプが点灯したので、船長が機関室をのぞくと、そこには海水が入ってきておりエンジンが使用不能となった。

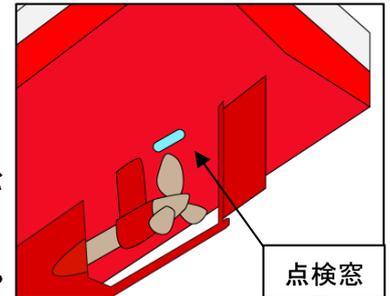
ポンプで排水を行いながら浸水箇所を探すと、船底にある点検窓のネジが折損してそこから浸水していた。

船長は近くの船に助けを求め、排水を継続しつつ曳航されて港にもどった。

【原因】

ネジが折損した原因は電食及び船体の振動の影響によるものと見られる。

点検窓の辺りには物が置いてあり、点検できる状態ではなかったことから、腐食が進行した。



上記の例では幸い港に帰ることができましたが、途中で沈没していた可能性もあります。
不具合を見逃したり、気付いてもそのままにしておく重大な結果につながりかねません。

出港前の点検はもちろん、整備を行い、不具合箇所には早めに対応するようにしましょう。

AISメッセージの確認とデータの更新

平成24年2月28日、外国貨物船(総トン数1,548トン)が留萌港の南西に設置されたホタテ養殖施設に向かっているのを確認したため、**注意喚起のAISメッセージを送信したところ、同船は針路を変更し、結果として漁具への乗揚げを回避する**という事案がありました。

このように第一管区海上保安本部では、AIS搭載船舶に対する乗揚げ防止等に係る情報提供をメッセージにより行っています。

従ってこれらのメッセージを適時に確認できるようAIS装置の**受信アラーム**は、メッセージ受信時に鳴るよう、**常時ON**に設定してください。

※AISメッセージには安全航行に関する重要なお知らせがありますので、アラームが鳴ったら受信内容の確認をお願いします。

お互いの動静を正確に把握することが危険回避に役立ちます。AIS装置には、出航前に航海情報を入力し、変更が生じた時はその都度新しい情報を入力しましょう。

航海情報(機関で航行中、錨泊中、運転不自由船等)、喫水、目的地と到着予定時刻が、手作業で入力する項目です。



2月の海難隻数及び海難による死者・行方不明者数(速報値)
7隻、0名
平成24年累計(速報値)
14隻、1名